



へ13
3013
3

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20
JAPAN
TA-MIA

3013
3



品定の詞荒海のものゝ、東都通油町
かゝ國乃るものゝ、さけり物 繪草紙問丸
目ふ見えぬ鬼物かふゝ 鶴屋喜右衛門

修紫田舎源氏

三編 上冊

柳亭種彦作
歌川國貞画



庚辰孟春
仙鶴堂

修紫田舎源氏第三編
全部引書目録



源氏提要 源氏小鏡 十帖源氏

源氏 源氏鬘鏡 紅白源氏

雛鶴源氏 若草原氏 源氏若竹

風流源氏物語 新橋姫物語 一名都の辰巳

以下海柳閣 源氏六條通 弘徽殿よりあり討 葵の上

弘徽殿鶴羽産家 謡曲數種

俳諧源氏 予若幸の頃何意ろく讀するが
今よりむとても未得

文政 庚寅春發行
辛卯春再彫

柳亭種彦記

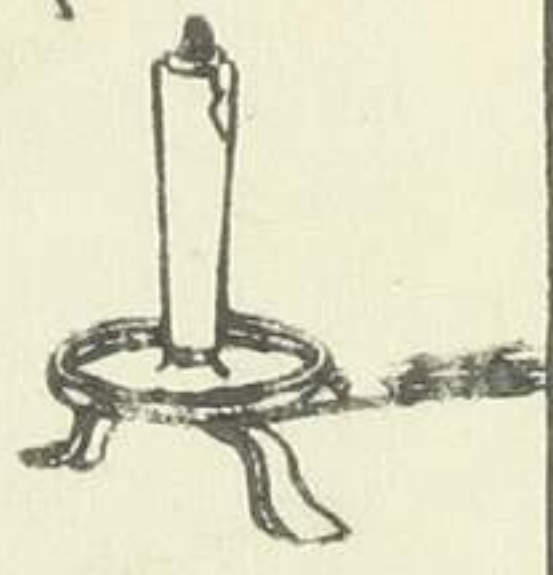
源氏三編

虚蟬の身とて
くはあのもともな
くが舞あけり

足利次郎
光氏
十七歳の
姿



うみせみの羽より
あつた水鏡と
あひまのびるね



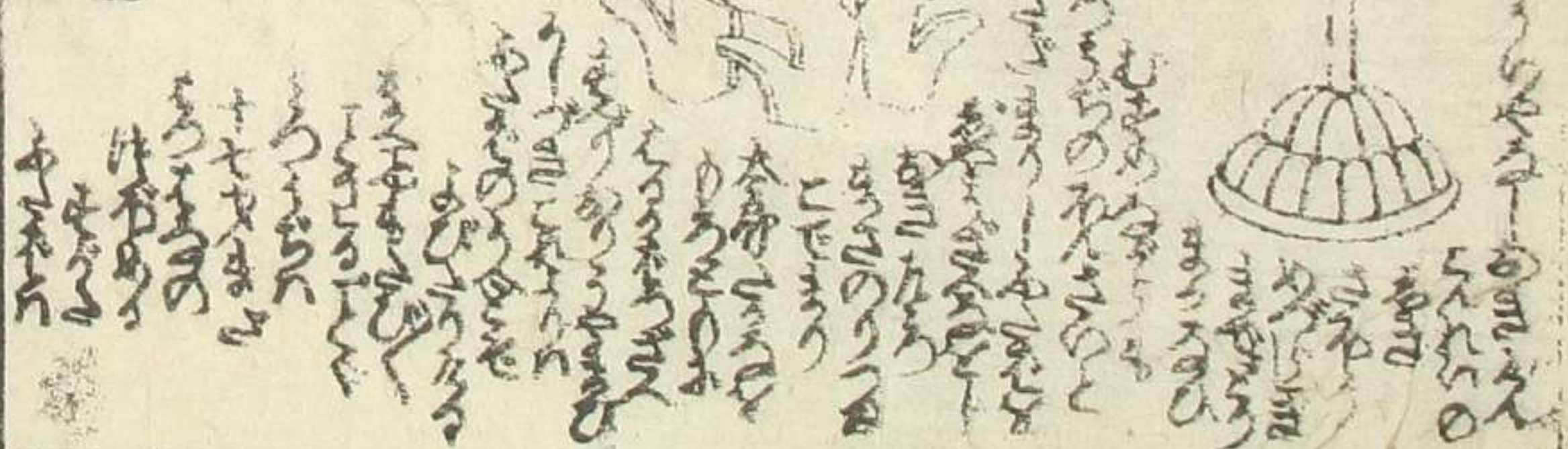
あつた水鏡と
仁木喜代之女の妻

空衣

うみせみ
比





[illegible]



源氏物語の一場面を描いた挿絵。右側に立つ人物は、左側に座す人物と対話している。背景には竹や木が見え、右側には燈籠が描かれている。人物は和服を着ており、髪は束ねられている。挿絵の周囲には多くの日本語の文字が記されている。

源氏物語の一場面を描いた挿絵。右側に立つ人物は、左側に座す人物と対話している。背景には竹や木が見え、右側には燈籠が描かれている。人物は和服を着ており、髪は束ねられている。挿絵の周囲には多くの日本語の文字が記されている。

源氏物語の一場面を描いた挿絵。右側に立つ人物は、左側に座す人物と対話している。背景には竹や木が見え、右側には燈籠が描かれている。人物は和服を着ており、髪は束ねられている。挿絵の周囲には多くの日本語の文字が記されている。

源氏物語の一場面を描いた挿絵。右側に立つ人物は、左側に座す人物と対話している。背景には竹や木が見え、右側には燈籠が描かれている。人物は和服を着ており、髪は束ねられている。挿絵の周囲には多くの日本語の文字が記されている。

うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ

うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ

うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ

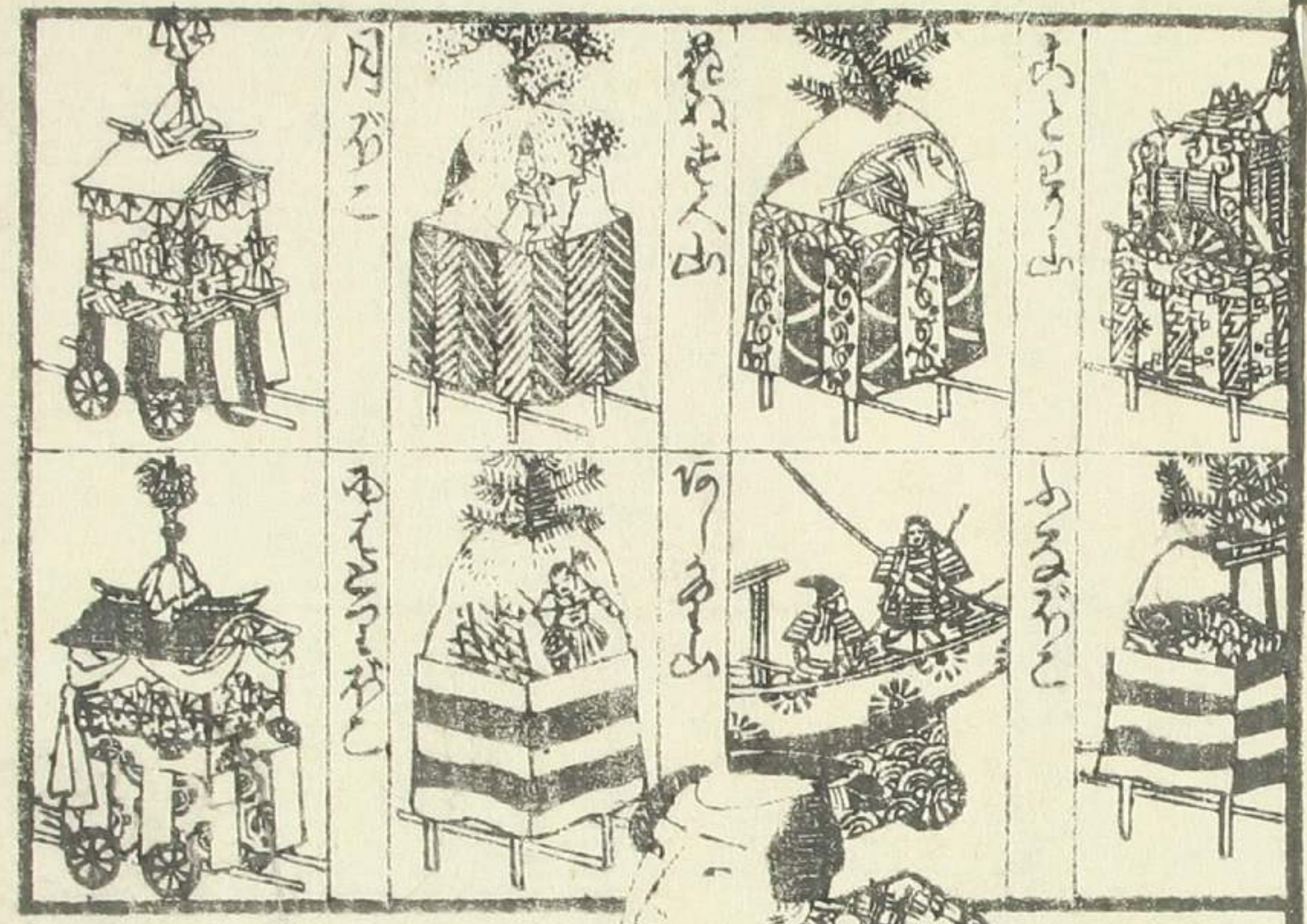
うしろのふりしきり

板元

二条通鶴屋



うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ



うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ
うしろのふりしきりてうしろ



清見三郎

十



清見三郎

十

[illegible]

This is a black and white woodblock print illustration, likely from a Japanese book. The scene depicts three figures. A man and a woman are seated, looking towards the left. The man is wearing a patterned kimono and holding a fan. The woman is wearing a striped kimono. A third figure, possibly a child or a smaller person, is leaning over them. The background is filled with vertical Japanese text. The style is characteristic of Edo-period book illustrations.

[illegible]

字寶節用千金藏

大書狀案文

源氏百人一首宝文庫

女用文章色紙染

御家
正流
子供案文

柳亭隨筆

初編既刻

還魂紙料

二編近刻

田舎源氏文好のがゑ
上仕
廿八編目奥書よりなり。めて誦せし
や、阿比略なき区の間座の市を好む
あり。近年もなまれいふ説
あるに用ひたり。

種虎也

貞秀画圖

咄昔
火拵火ヒナア

全二冊

同
ちんちんちんちん

全三冊

同
浦
多
翁

全三冊

茶番のいろは

全二冊

昔以上先年夢中

舟刻

咄捕判官

全三冊

地本類東錦繪問丸御摺物所鶴屋喜右衛門

源氏

高 田 繁

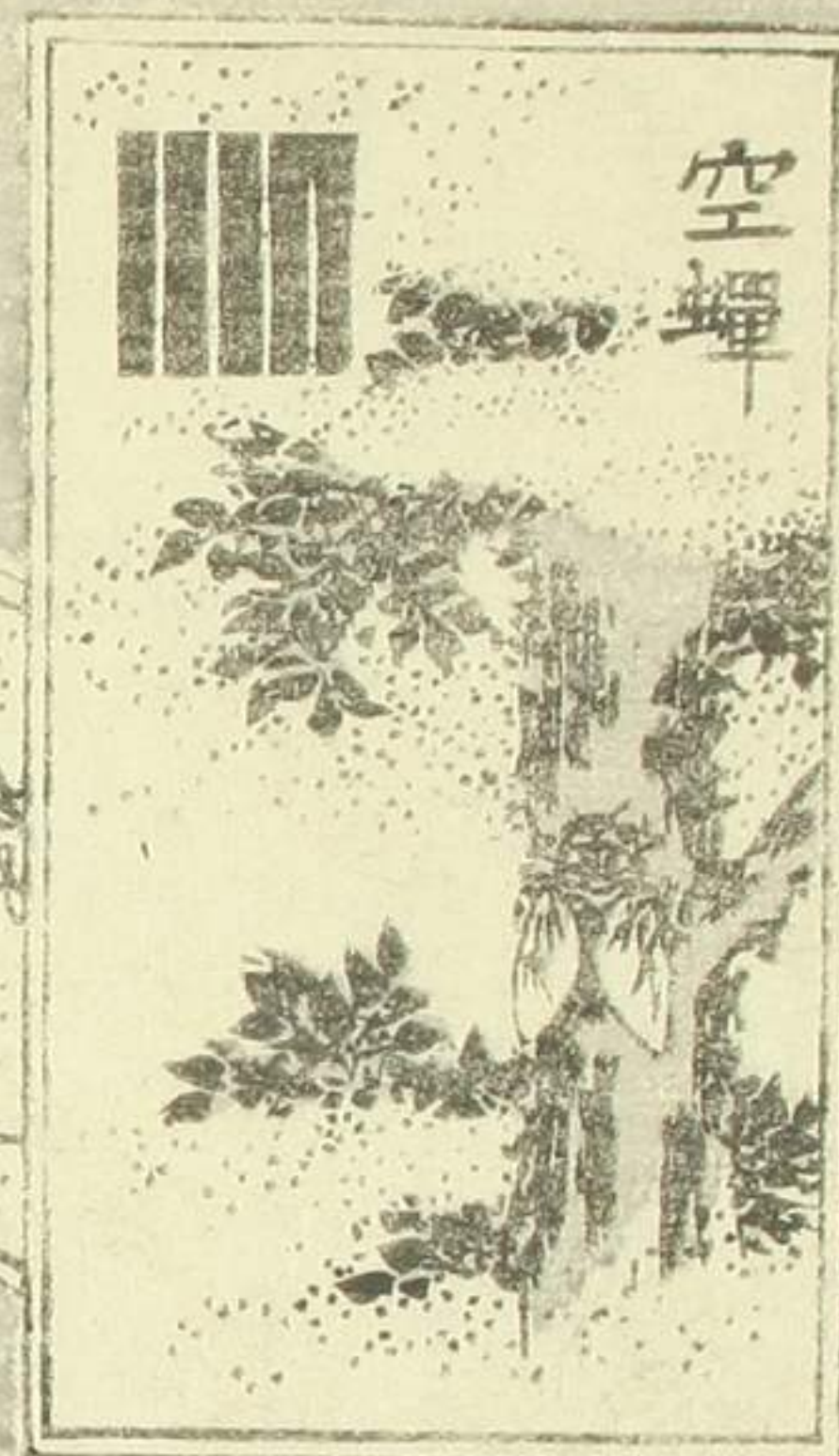
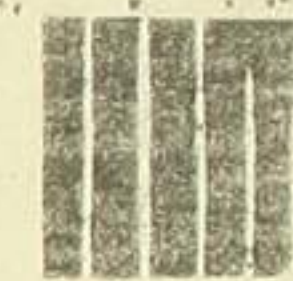


三編下

錦
堂

The image shows a book cover with a repeating pattern of circular medallions. Each medallion contains a stylized Chinese character, often accompanied by a small illustration of a bird or insect. The background is a textured, light brown color. The characters and illustrations are arranged in a grid-like pattern, with some characters appearing multiple times. The overall design is traditional and decorative.

空蟬



庚寅
新彫

田舎

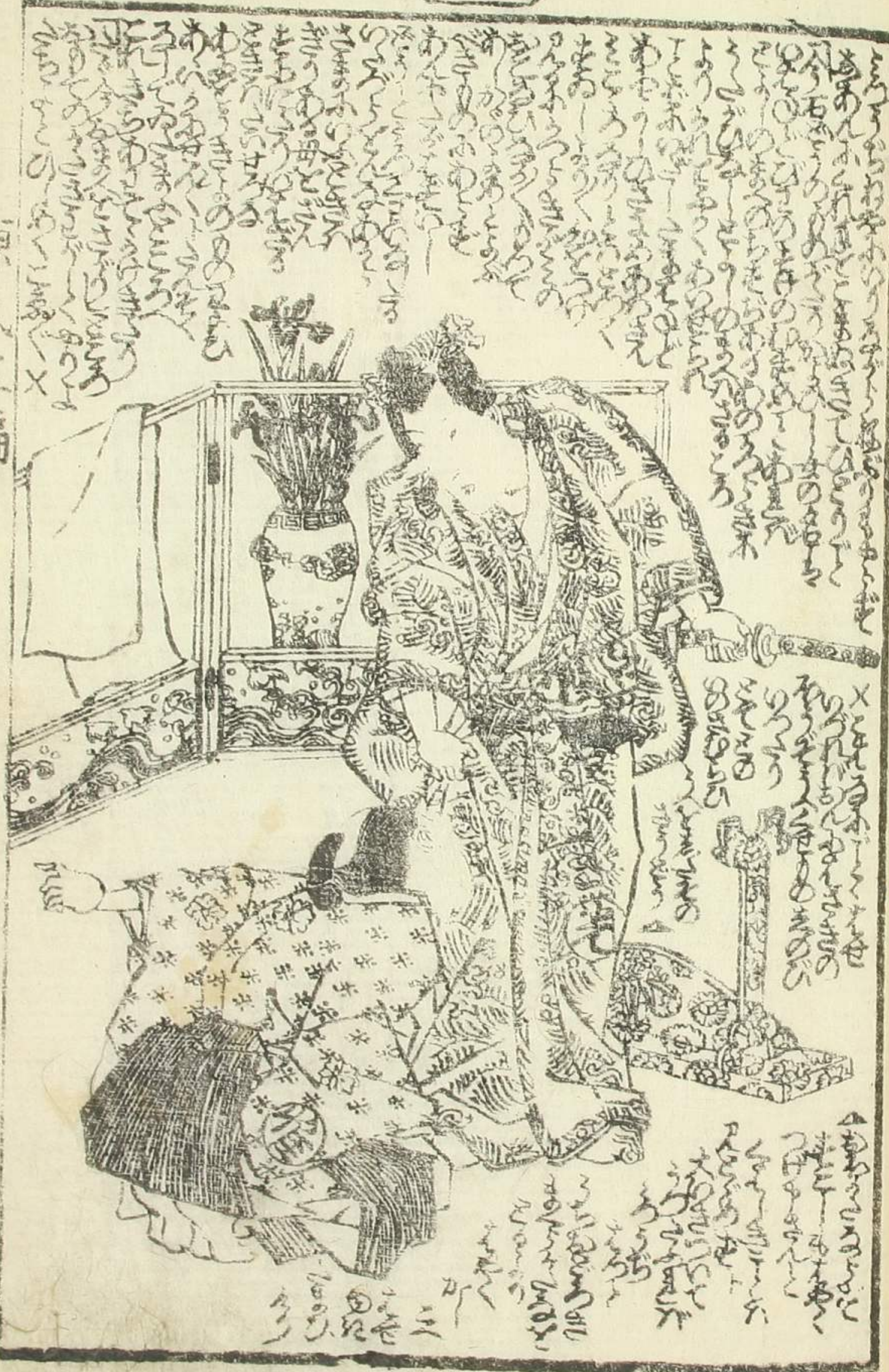
源氏

三編下冊

種彦作
國貞画

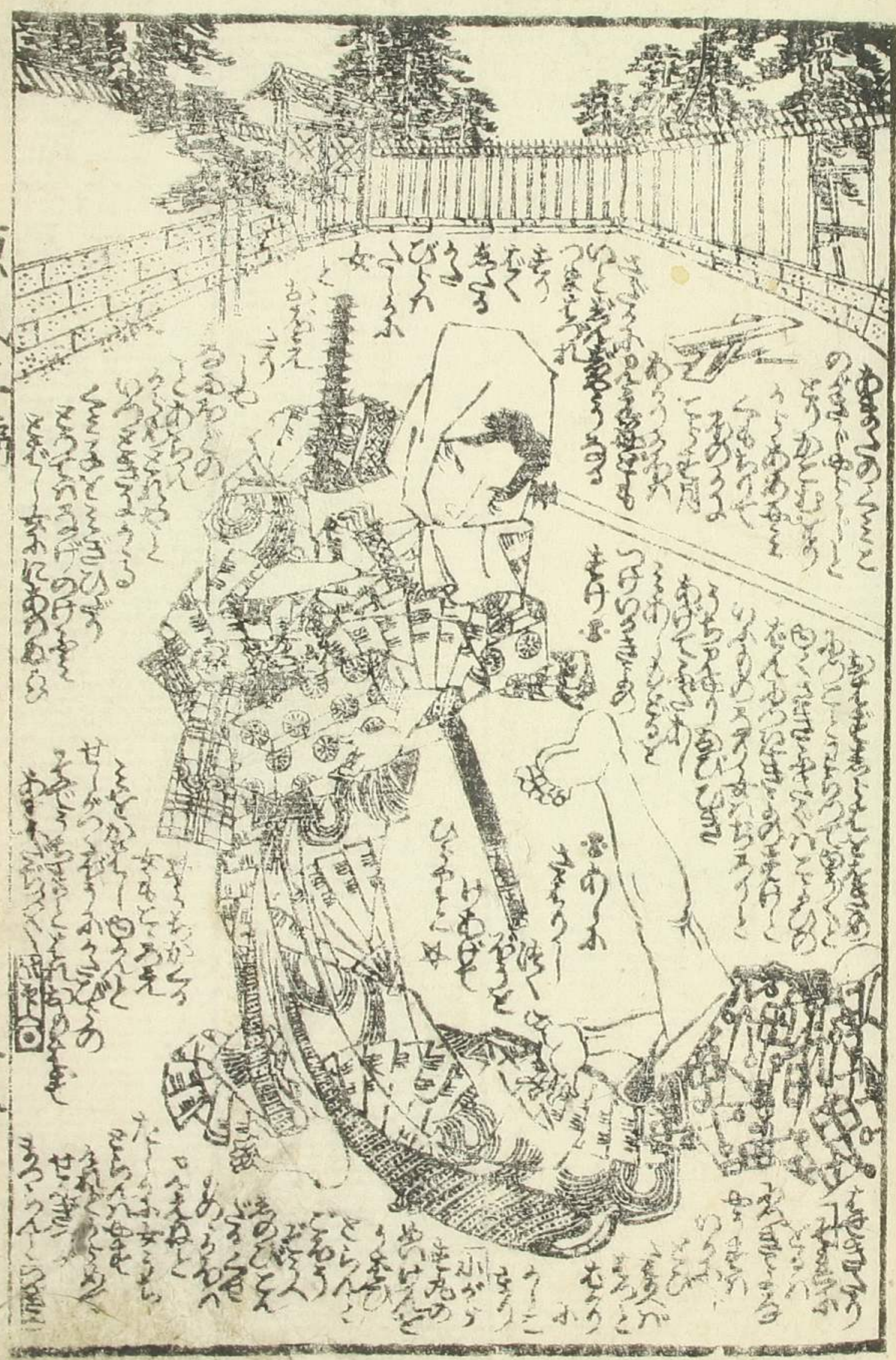
信濃屋板

三



源氏三編

下



柳亭所好

新形

所煙管

おくり形

例年の

通り

儀草

市の日

黒

町

村田

小森

店

美濃

美濃の



この世のことは、すべて無常なり。人生は夢に過ぎぬ。我々の身は、土と灰に過ぎぬ。故に、我々は、この世のことに、執着せず、心を静かにし、神を敬ふべし。此の世のことは、すべて無常なり。人生は夢に過ぎぬ。我々の身は、土と灰に過ぎぬ。故に、我々は、この世のことに、執着せず、心を静かにし、神を敬ふべし。

此の世のことは、すべて無常なり。人生は夢に過ぎぬ。我々の身は、土と灰に過ぎぬ。故に、我々は、この世のことに、執着せず、心を静かにし、神を敬ふべし。此の世のことは、すべて無常なり。人生は夢に過ぎぬ。我々の身は、土と灰に過ぎぬ。故に、我々は、この世のことに、執着せず、心を静かにし、神を敬ふべし。

この世のことは、すべて無常なり。人生は夢に過ぎぬ。我々の身は、土と灰に過ぎぬ。故に、我々は、この世のことに、執着せず、心を静かにし、神を敬ふべし。此の世のことは、すべて無常なり。人生は夢に過ぎぬ。我々の身は、土と灰に過ぎぬ。故に、我々は、この世のことに、執着せず、心を静かにし、神を敬ふべし。



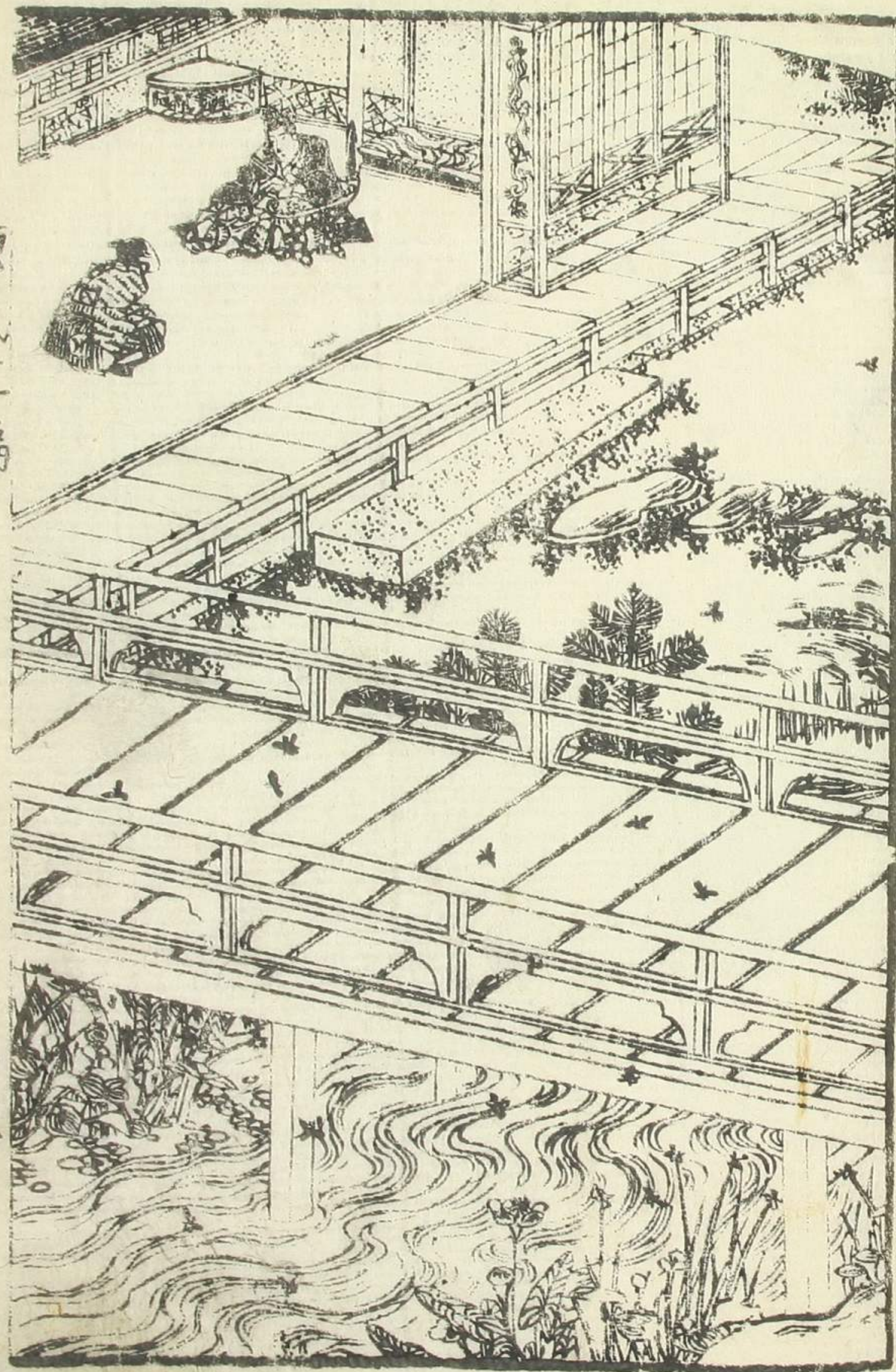
この世のことは、すべて無常なり。人生は夢に過ぎぬ。我々の身は、土と灰に過ぎぬ。故に、我々は、この世のことに、執着せず、心を静かにし、神を敬ふべし。此の世のことは、すべて無常なり。人生は夢に過ぎぬ。我々の身は、土と灰に過ぎぬ。故に、我々は、この世のことに、執着せず、心を静かにし、神を敬ふべし。

此の物語は、昔の事だ。ある朝、ある村に、
 一人の女が、山へ出て、木を切りに行った。
 すると、山の中に、大きな木がある。その木の下に、
 小さな祠がある。祠の中には、お神主様が、
 祈りを捧げている。女は、お神主様の姿を見て、
 驚き、逃げた。お神主様は、女を呼び止めて、
 話を聞いた。女は、山で、お神主様と、
 出会った。お神主様は、女に、
 何かを授け、女は、村へ帰った。女は、
 村で、お神主様の話を、人々に、
 話した。人々は、お神主様の話を、
 信じた。お神主様は、村で、
 祈りを捧げ、村を、
 守った。



此の物語は、昔の事だ。ある朝、ある村に、
 一人の女が、山へ出て、木を切りに行った。
 すると、山の中に、大きな木がある。その木の下に、
 小さな祠がある。祠の中には、お神主様が、
 祈りを捧げている。女は、お神主様の姿を見て、
 驚き、逃げた。お神主様は、女を呼び止めて、
 話を聞いた。女は、山で、お神主様と、
 出会った。お神主様は、女に、
 何かを授け、女は、村へ帰った。女は、
 村で、お神主様の話を、人々に、
 話した。人々は、お神主様の話を、
 信じた。お神主様は、村で、
 祈りを捧げ、村を、
 守った。





一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

あはれなる心ぞおもひて
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた

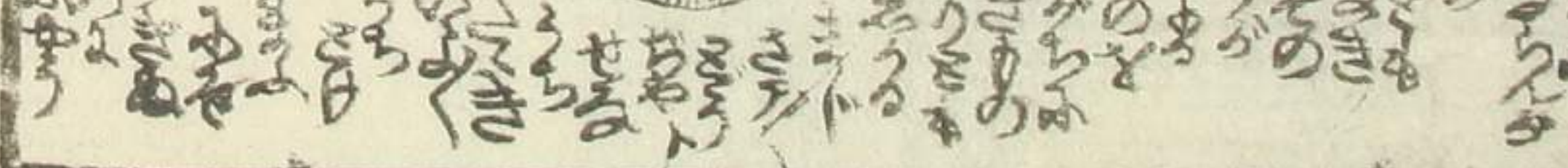


あはれなる心ぞおもひて
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた

あはれなる心ぞおもひて
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた



あはれなる心ぞおもひて
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた
 けしきもなほ川をわた
 こころもなほ川をわた

[illegible][illegible]

卷之五

水一石

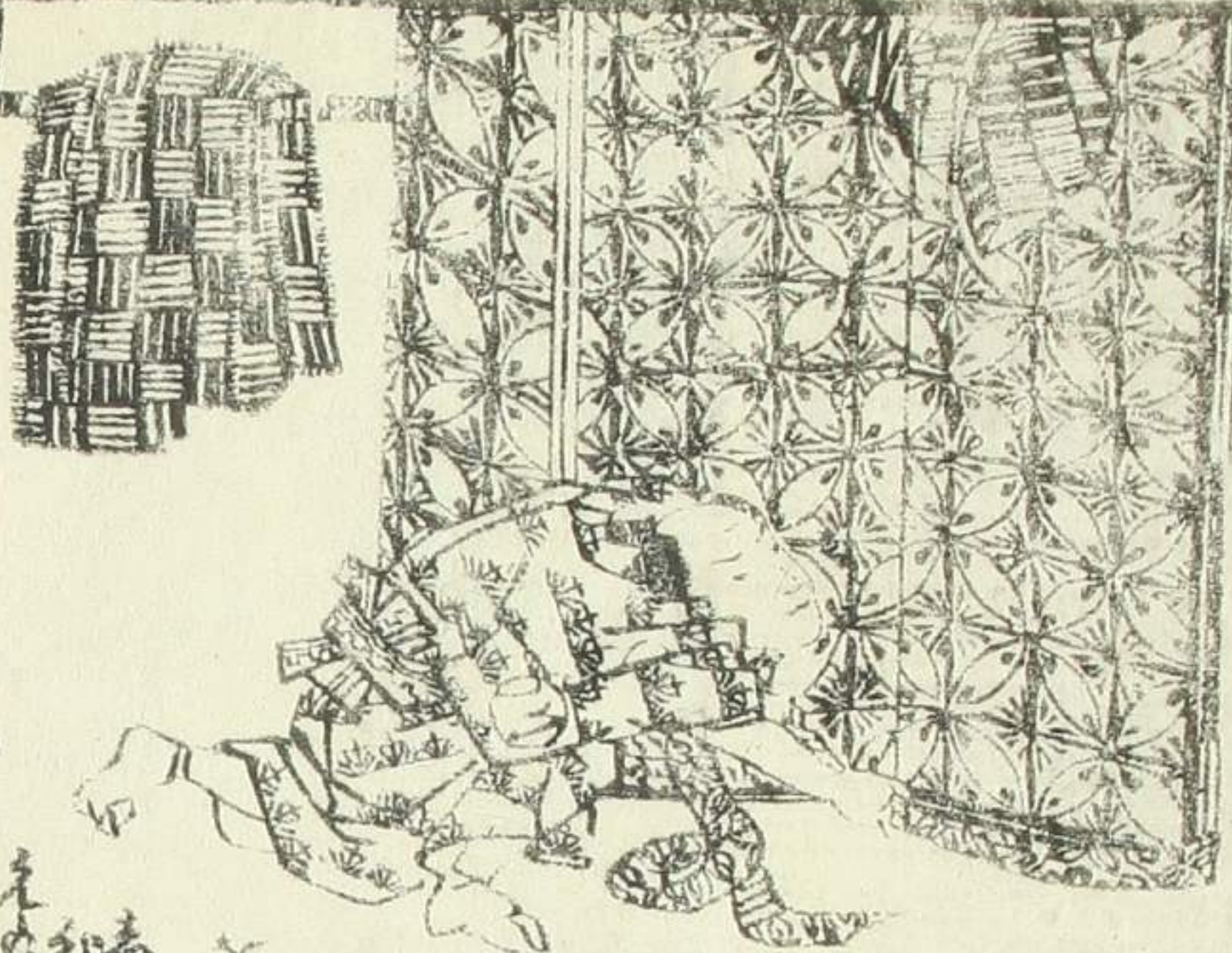
新秋地



下
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

[illegible][illegible]

まゝにあらざり
せざるをいふ
いふれどもこと
とてあらざるも



A black and white woodblock print illustration of a woman in a kimono, holding a fan, with Japanese text surrounding her. The woman is depicted in a three-quarter view, looking towards the left. She has dark hair styled in a bun and is wearing a kimono with a pattern of swirling clouds and flowers. She holds a fan in her right hand. The background is filled with Japanese text in various styles, including kuzushiji and modern katakana. The text is arranged in columns around the central figure. The overall style is characteristic of Edo-period Japanese art.

[illegible][illegible]

A drawing of a traditional Japanese building with a tiled roof, surrounded by pine trees.

國貞画種彦作

賤しやうの女むすめ
黃わう氏し

華耕子形道友

父願の上
ひ



○あつた三篇はまゝくちのまゝとまうけたその
さうぢれぬやうなふくみぢうぢうとくちとくち
まゝのうのまゝうーとくちやーまぐちのまぐちの
めぐちうのまゝくちやうまぐちうーまぐちうー

[illegible]

倭紫田舎源氏

柳亭種彥作
歌川國貞画

二十四編の初めより終りまで下冊のありの巻とあり二十五編
上冊のありの巻の巻をつり下冊のありの巻とあり二十六編上冊の巻
下冊のありの巻とあり二十七編の上冊の巻とあり二十八編
下冊の巻とあり二十九編の上冊の巻とあり三十編下冊の巻とあり
三十一編の上冊の巻とあり三十二編下冊の巻とあり三十三編
上冊の巻とあり三十四編下冊の巻とあり三十五編上冊の巻とあり
三十六編下冊の巻とあり三十七編の上冊の巻とあり三十八編
下冊の巻とあり三十九編の上冊の巻とあり四十編下冊の巻とあり
四十一編の上冊の巻とあり四十二編下冊の巻とあり四十三編
上冊の巻とあり四十四編下冊の巻とあり四十五編上冊の巻とあり
四十六編下冊の巻とあり四十七編の上冊の巻とあり四十八編
下冊の巻とあり四十九編の上冊の巻とあり五十編下冊の巻とあり
五十一編の上冊の巻とあり五十二編下冊の巻とあり五十三編
上冊の巻とあり五十四編下冊の巻とあり五十五編上冊の巻とあり
五十六編下冊の巻とあり五十七編の上冊の巻とあり五十八編
下冊の巻とあり五十九編の上冊の巻とあり六十編下冊の巻とあり
六十一編の上冊の巻とあり六十二編下冊の巻とあり六十三編
上冊の巻とあり六十四編下冊の巻とあり六十五編上冊の巻とあり
六十六編下冊の巻とあり六十七編の上冊の巻とあり六十八編
下冊の巻とあり六十九編の上冊の巻とあり七十編下冊の巻とあり
七十一編の上冊の巻とあり七十二編下冊の巻とあり七十三編
上冊の巻とあり七十四編下冊の巻とあり七十五編上冊の巻とあり
七十六編下冊の巻とあり七十七編の上冊の巻とあり七十八編
下冊の巻とあり七十九編の上冊の巻とあり八十編下冊の巻とあり
八十一編の上冊の巻とあり八十二編下冊の巻とあり八十三編
上冊の巻とあり八十四編下冊の巻とあり八十五編上冊の巻とあり
八十六編下冊の巻とあり八十七編の上冊の巻とあり八十八編
下冊の巻とあり八十九編の上冊の巻とあり九十編下冊の巻とあり
九十一編の上冊の巻とあり九十二編下冊の巻とあり九十三編
上冊の巻とあり九十四編下冊の巻とあり九十五編上冊の巻とあり
九十六編下冊の巻とあり九十七編の上冊の巻とあり九十八編
下冊の巻とあり九十九編の上冊の巻とあり百編下冊の巻とあり

法衣の森あり
美艷仙女香
あふぐさあふさる
黒油美玄香
製所
南信馬町
三丁目西側
坂本氏
取次



書物錦繪
團扇地紙
問屋
江戶通油町
鶴屋喜右衛門

